

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和6年11月8日(金曜日) 第3420号
 (昭和42年7月10日第3種郵便物認可)
 毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健
 購読料 6ヵ月 14,300円(税込み)
 振替番号 東京4-71739
 発行所 株式会社日刊経済通信社
 本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階
 ☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600
 名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791
<http://www.nikkankeizai.co.jp/>

'24年歳暮ギフト特集①

2024年の歳暮ギフト商戦が始まった。ギフト市場はコロナ禍を底として回復、拡大しているが、プラス要因は通年、カジュアル製品の拡大で中元・歳暮期の需要は縮小している。食品ギフト大手である味の素AGFの山本倫子コンシューマービジネス部ギフト

テイニンググループグループ長は「現代の世帯構成、ニーズに合った提案が必要」と指摘している。
〈適正量・価格も大事〉
 山本グループ長によると、ギフト市場は親しい人への贈答や自家消費の「カジュアルギフト」がけん引役で、取引先・親戚間など

伝統的な贈答が多くを占める中元・歳暮は依然としてマイナスが続く。
 要因としては節約志向もあるが、少数・高齢世帯の増加も挙げられ、中元・歳暮ギフトの主となっているポリウムのある製品が消費し切れなくなっていると考えられる。結果、同社で

は「本飲み切り型のスティックが人気となっている。一方、カジュアルギフトはコロナ禍で価値が再確認された。親しい人に楽しんでもらいたい」。自分へのご褒美、需要が追い風。選

主な内容

歳暮ギフト特集①	12面	イスマ「コノスル」PN	7面
(嗜好飲料)		フランス美食の余韻	11面
大阪府清酒鑑評会表彰式	6面	各社物流課題解決取り組み	34面
NHJ創立100周年	15面	食品第2四半期決算	13面
		主選きの惣菜ブランド化	3面
		原料商品情報	89面

カジュアル需要を取り込めるか

嗜好飲料

味の素AGF(食品含む)
 〈スティックで攻勢〉

前述の分析から、スティックが充実。カジュアルギフト需要も取り込みたい考えだ。売れ筋1位の「ブレンドイステック ウィンターカフェオレコレクション」は税別3000・5000円。
 伸び率1位の「スティックカフェオレ&ブラックアソートギフト」は2000・3000・5000円。通年販売する「ちよつと贅



沢な珈琲店スティックブラックギフト」は歳暮用として5000円を追加。ブラックとミルク入りが楽しめる「ちよつと贅沢な珈琲店スティックアソートギフト」は3000円。
〈再び健康油時代か〉

味の素ブランドギフトは、健康系食用油とその他調味料を組み合わせた「テイステイ&バラエティオイルギフト」が目玉。3000・5000円。
 山本グループ長によると、「食用油ギフト市場は汎用油の値上げ後特需が落ち着き、健康系の人気

が回復」。中元期か



「オイルセレクション」
 キーコーヒー
 〈あらゆるシーンにコーヒーを〉
 テーマは「多様化」。ライフスタイルの変化を背景とした様々なコーヒー用シーンに対応する。自分で抽出してゆつくりと、手軽に簡単に。外出先でも、たまには少し贅沢な。どあらゆるニーズに 대응するため、幅広いバリエーションをラインアップ。

「KSA」は、創業100周年記念「SINCE 1920 BLEND No.100」のレギュラーコーヒー(2面に続く)

日刊食品通信

●A4判速報形式
 ●有力企業広告も掲載
 ●購読料 6ヵ月45,100円(税込み)

業界唯一の酒類食品総合日刊紙。多忙の時はヘッドラインをお読み下さい。本文も簡潔、明瞭です。

日刊食品通信

●B5判雑誌形式。毎月月末発行
 ●有力企業広告も掲載
 ●購読料 6ヵ月24,750円(税込み)

独自の調査による統計・レポートづくりを通じて50余年。今後も酒類食品業界をデータとして記録し続けます。

酒類食品統計月報

2022
 1